

ニ政府ニ權限ガアリマセヌカラシテ、被害者ニ對シテ損害ノ申請ヲ提出スルコトヲ強制スルコトガ出來マセヌ、ソレカラ又其損害ノ申請ヲ提出シタル者ヲ審査スルコト云フ機關モアリマセヌ、サウ云フ次第デ、被害者ガ任意ニ申請シテ來タモノヲ、コチラハ唯之ヲ受付ケテ、一應目ヲ通シタト云フ程度ニ止マルノデアリマスルガ、併シ外務省ニ於テ既ニ被害者カラサウ云フ意味ノ申請ノアリマシタル者ガ、約七百有餘件アルノデアリマス、隨テ其七百有餘件ノ内容ハ殆ド、皆引揚ニ依ルモノデアリマシテ引揚ニ依ル損害ヲ計上シタルモノデアリマシテ、唯多少「オコック」漁場損害等ノ申出モアリマシタガ、併シ尼港ノ損害ノ申出ト云フモノハ、殆ド先ヅ指ヲ屈スル位僅カシカナイノデアリマス、サウ云フハ皆殺戮サレタ爲ニ、斯ウ云フ申請ガ出來ナイ狀態ニアルノガ多イノダラウト考ヘマス、其外務省ニ出テ居リマス申請額ハ、本會議ニ於テ大臣カラモ御説明ガアツタヤウニ思ヒマスガ、其數ニ於テ七百有餘件約八百近クアリマシテ、其金額ハ二千五百萬圓、尙ホ此他ニ英吉利ノ貨幣デ六萬磅、露西亞ノ貨幣デ千九百餘萬留別ト云フ申請ガアリマシマス、此露西亞ノ貨幣ハ吾々ノ方デハ、其當時ノ相場ニ依リマシテ日本ノ貨幣ノ二百四十萬圓位ノ見積デアリマス、英貨六萬磅ハ六十萬圓位ノ見積デアリマス、此日本貨二千五百萬圓、英貨六萬磅露貨千九百萬留別、約三千四百萬圓位ニナルノデアリマス、所ガ此三千四百萬圓ト申ス莫大ナ額デアリマスガ、吾々ガ別ニ權限ヲ持ツテ居ラスニ拘ラズ一寸目ヲ通シマシタル所デモ、損害ト目スベカラザルモノガ計上シテアリ、或ハ損害ノ損害デアルガ、殆ド想像ニ近イモノ、或ハ間接損害ト云フモノガ大分見積テアル、併シ審査致シタルノデアリマセヌカラ、果シテドノ程度マデ見積テアルカト云フコトハ明言出來マセヌガ、過去ノ經驗ニ依リマシテモ斯ウ云フ場合ニ於テハ被害者ノ申請額ト云フモノハ、自ラ度ヲ超エテ居ルモノガ多イノデアリマシテ、強チ被害者ヲ咎メル譯デアリマセヌガ、人情サウナルノデアリマセヌカラ、此三千四百萬圓ト云フ額ハ、吾々トシテハ實際モット減ルベキモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ先ヅ其額ヲ半分ト云フフヤウニ大サツパニ見積ル譯ニハ行キマセヌガ無論三千萬圓以內ト見積テモ適當デナカラウト思フノデス、ソレカラ別ニ此尼港ノ方面ノ損害ト云フモノハ、只今申シマシタル通り、申請書ガ出テ居ナイノデゴザイマスカラ、是ガ幾ラアルカ又尼港ノ損害以外デモ申請シナイモノモゴザイマスカラ、ソレ等ヲ一考達ヒヲシマシテ間違ヒマシタガ、尼港遭難並ニ申請シテナイモノ約五百萬圓位ノ程度ニ見積リ、ソレニ先程申シマシタル二千五百萬圓、英貨六萬磅露貨千九百萬留別合算シマシタルノガ三千四百萬圓トナリマス其中心カラ極ク

寛大ニ見積リマシテ、三千萬圓ノ損害ガ被害者カラ出タモノト假定シマシテ、其三千萬圓ノ損害ニ對シテ百五十萬圓ノ救恤ヲスル、斯ウ云フノデ百五十萬圓ト云フ金ガソコデ初メテ現レタルデアリマス、三千萬圓ニ對シテ百五十萬圓、即チ二十分ノ一ニ切下ゲタルハドウ云フ譯デアリカト申シマス、日露戰役ノ當時ノ救恤ノ比例ガサウデアリカトデス、其當時ニ申請額ノ約二十分ノ一ヲ救恤シタルヤウニナッテ居リマスカラ、今回モサウ云フ算出ラシタルノデアリマス、先程申シマシタル通り、三千何百萬圓ノ損害ヲ申請シテ居ルト申シマシテモ、是ハ實際ニ於テハ損害ガモットズツト少イノデハナイカ、其實際ノ損害ヲ標準ニシマシタルラバ、百五十萬圓ハ二十分ノ一デナシニ、或ハ十分ノ一トナルカ、或ハ七分ノ一トナルカ、或ハ五分ノ一ト云フヤウニナルノデハナイカト云フヤウナ考モアリマス、ソコデ百五十萬圓以下トシテ置ケバ、救恤ト云フ精神カラ見マシテモ大體宜クハナイカ、斯ウ云フ意味ヲ以テ百五十萬圓ト云フモノハ、第三條ニ掲ゲタル譯デアリマス、其他第三條、第四條等ハ極ク分り切ツタ規定デアリマスカラ、説明ノ必要ハナイト思ヒマス、第五條ハ救恤ノ審査ヲアル機關ヲ極メタルモノデアリマシテ、最モ別ニ説明ヲ要シナイト思ヒマス、第六條ハ申請ノ期限ヲ極メタルモノデ、是モ説明ヲ要シマセヌ、大體左様ナモノデアリマスカ、尙ホ御質問ニ依リマシテ答辯致シマス

○島田委員長 質問ノ通告順ニ依リマシテ答辯致シマス

○山道委員 只今ノ御説明デ大體分リマシタガ、三四箇條御尋シテ見タイト思ヒマス、此救恤ヲ爲サルノハ、其事變ノ時期ハ凡ソ何時頃マデヲ限リトシテ今日マデ申請ヲ御受ニナッテ居ルノデアリマスカ、又今尙ホ西比利アノ狀態ハ不安ノ狀態デアリマシテ、駐屯軍モ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、將來モ斯ウ云フ事ガ幾度カ起ルデアラウト云フコトハ豫想シ得ラレノデアリマス、又今御説明ノ中ニモ、申請シタル者ニ對シテノミ恩澤ヲ授ケルヤウニナッテ居リマスカ、マダ申請セズニ漏レテ居ルモノモアルト思ヒマス、此申請ヲ御受ニナッタル其事變ハ何時迄デアルカ、其時期トソレカラ若シ是マデ漏レタモノハ、將來申出デタルバ矢張同様に御處置ヲ御執リニナルカ、又今後ニ於テ事變ガ起リマシタルトキニハ、ソレニモ同様ナ處置ヲ御執リニナリマスカ、先ヅ之ヲ一ツ伺フテ置キタイト思ヒマス

○田中政府委員 是マデ外務省ニ於テ申請ヲ受ケテ居ルト云フノハ、任意ニ被害者カラ出スモノヲ任意ニ受ケテ居ルト云フ譯デアリマシテ、何等法律上ノ效力ノ儼然タルモノガアルト云フ譯ノモノデハナイノデアリマス、隨テ此法律ガ發布サレマスカラバ、此法律第六條ニ從ヒマシテ、新タニ申請ヲ仕直サナケレバナラヌモノト考ヘマス、是マデノ中

請ハ單ニ本人ノ請願デアリマシテ、是ハ此法律ニ依ル申請ト認ムルベキモノデハナイト考ヘマス、尙ホ其時期ハ此法律ノ公布サレマスカラマデノ時期ニ於テ引揚又ハ遭難ノ爲ニ損害ヲ被タル者ハ、皆受理シテ差支ナイ考デアリマス、ソレカラ將來ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ尙ホ露西亞ノ方面ハ不安デアリマスカ、今カラシテ必ズ救恤スルコトカ云フ事ヲ決定スルコトハ出來ネレト考ヘマス、殊ニ此法律ヲサウ云フ風ニ引伸シマシテ、將來モ引續キ救恤金ヲ交付スルコト云フコトニシマシタルラバ、第二條ノ金額ノ如キハ決定スルコトガ困難デアラウト思ヒマスカ、今後ノ問題ハ今後ノ事トシマシテ、事實問題ニ依リテ將來決定スルヨリ外ナカラウト考ヘテ居リマス

○山道委員 無論法律ニナッテ出マシタルモノヲ、國民ガ知ラズニ居テ、其法律ニ依リテ與ヘラレタ自己ノ權利ヲ拋棄スルヤウナ者ハ、ソレハ仕方ガナイヤウナモノデアリマスガ、斯ウ云フコトハ外ノ一般ノ法律ト違ヒマシテ、唯此法律ヲ知ツテ申出タル者ノミガ救恤ヲ受ケテソレニ洩レタル者デアルトカ、又將來ニ對シテ同ジヤウナ事變ガ起ツク遭難ガアツテモ、ソレハ何トモ分ラナイト云フヤウナコトデハ、ドウモ私ハ不深切ナ、不公平ナ取扱ニナリハセヌカト思ヒマス、無論此法律ニ依リテ將來マデノ事ヲスルト云フコトハ出來ナイト云フコトハ私モ承知シテ居リマスガ、既ニ西比利方面ニ撤兵ヲ致シマシタル後ニ於キマシテ、而モ同ジヤウナ狀態ガ續イテ居ルノニ、後ノコトハ知ラナイト仰セニナルノハ、ドウモ私ハ餘リ此法案自體御提出ニ對シテモ、精神ヲ少シク疑ハザルヲ得ナイト私ハ考ヘルノデアリマスカ、斯ク同ジ狀態ニアルモノヲ今日マデ以前ノ事變ニ對シテハヤルケレドモ、是カラ以後ノモノニ對シテハヤラヌト云フノハドウモオカシイト思ヒマス、ドウゾ丁寧ニ御答辯願ヒマス

○田中政府委員 私ノ言葉ガ足ラナカッタガ爲ニ誤解ガアルトイケマセヌカラ、モウ一應申上ゲマス、是マデ申請ヲ出シテ居ル者ニ對シテ救済ヲスル、此法律ヲ少シク知ラヌデ申請ヲ出サナカッタ者ニハヤラス、是マデ外務省ニ申請ヲ出シタル者ダケガ救済ヲ受ケルト云フ風ニ意味ヲ御探リニナツタトスレバ、ソレハ私ノ言葉ガ足ラナカッタ點デアラウト考ヘマスガ、此法律ヲ公布シマシテ、即チ第六條ニアリマス通り七月三十一日マデニ申請スル事ニナッテ居リマスカラ、其七月三十一日マデニ申請書ヲ受ケテ、其上デ救恤金ヲ決定スル、斯ウ云フコトニナリマスノデアリマス、從來申請ヲ受ケテ居タルハ先程モ申上ゲタル通り、是ハ役所ノ事務上受ケテ居タルノデ、此法律ニ依リテ何等ノ所置ヲ執ルト云フ爲ニ受付ケテ居タルノデアリマセヌ、尤モ此法律ガ出マシタル上ハ、之ヲ關係者ニ周知セシムルト云フ事ニ就テハ、十分政

府ハソレ等ノ方面ニ對シテ徹底スルヤウナ方法ヲ執ル考デ
居リマスガ、只今申シマス通り、既ニ七百有餘名、八百ニ近
イ人カラ損害ノ申請ガ出テ居ルノデアリマス。ニ港ノ
方面ヲ除キマシテモ、損害ノ申請ニ洩レテ居ルト云フ者ハ或
ハ少カラウト思ヒマス、引揚ゲノ人員等モ大抵分テ居リマ
スカラ、此法律ガ出マシタ上ハ、ソレ等ノ人ニ對シテ洩ナク
申請セシムルコトガ出來ヤウト考ヘテ居リマス、ソレカラ
將來ノ事ニ付キマシテ、同様ノ救恤ヲスルト云フコトヲ言
ハレナイノハ、不深切ト云フ御言葉デアリマスガ、成程取
リヤウニ依ッテハ不深切カモ知リマセスガ、ドウモ將來ノ事
ハ申上ガ兼ネマス、ソレハ所謂事實問題トシテ、又將來之ヲ
研究致シマシテ、サウシテ同様ナ所置ヲ執ルト云フヨリ外
ナカラウト思ヒマス

○山道委員 只今ノ御説明ノ中聽キ洩シタト思ヒマスガ、
御提案ノ際外務大臣ノ御説明ノ中ニモアリマシタガ、生命
ヲ失タル者モ少クナイノデアリマシテ、其利害關係者カラ
損害ヲ政府ニ願ヒ出デタル者ガアリマスガ、此引揚ニ對ス
ル救恤、避難ニ對スル救恤、此避難救恤ト云フコトハ財産上
ノ損害ヲ受ケタル者アリ、生命ヲ失タル者モアリマス、此
生命ヲ失タル者ニ對シテハ是ハ分テ居ルコト、思ヒマス
ガ、ソレデモ尼港邊リノ避難者ノ中ニハ關係者モ何モナイ
者ガアリマシテ、其中請ヲ得ナイ者ガアル——斯ウ云フ
哀レナ立場ニ居ル者モアルヤウデアリマス、死シテ生命上
ノ損害ヲ受ケマシタ者ニハ、申請ヲシナケレバ此恩典ニ浴
スルコトハ出來ナノデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ
伺ヒマス

○田中政府委員 總テ其損害ノ如何ニ拘ラズ、申請ヲ受ケ
ナケレバ——申請ヲシナケレバ救恤金ヲ遺ラナイト云フコ
トハ、已ムラ得ナイコトデアリマスガ、只今ノ尼港方面ニ於
キマスル死亡者、是ノ遺族ニ就キマシテ、尼港事變當時カラ
政府ニ於テ色々手ヲ盡シテ居リマス、大體遺族ノ中
ニハ或ハ死シタ者モアリマスシ、或ハ殆ド遺族ノ無イモノ、
若クハ其本人ノ身元ノ分ラヌ者モアルノデアリマス、是ハ
甚ダ困難ナ問題デアリマシテ、政府ハ成ベク此法律ガ出マ
シタナラバ、尙ホ一層手ヲ盡シマシテ、其關係者ノ取調ヲ
シ、實際上ノ家督相續ト申シマスガ、救恤金ヲ受クル關係者
ノ無イ者ハ致方モナイガ、サウ云フ請求ヲスル權利ヲ持ッ
テ居ル者ニハ申請セシムルヤウニ十分盡力致シタイト思ヒマ
ス

○山道委員 此御提案ノ際ニモ問答ニナラレテ居リマシタ
ガ、政府ハ引揚ヲ命ジタカ、命ジスト云フヤウナコトニ
付テノ御應答モアツタヤウデアリマスガ、政府ガ引揚ヲ命ジ
タカ、命ジスト云フコトモ、此處ニハ引揚者ニ對スル救

恤トアリマスガ、尼港ニ於キマシテハ、事變ノ前、事實ハ是
ハ今言フノハ或ハ當ラ得テ居ラスカ知ラスケレドモ、一年
モ前カラ斯ウ云フ状態ニナルト云フコトハ、尼港ニ居ル陸
軍ノ人モ外務省側ノ人モ皆斯様ナ事變ヲ起シテ來ルダラウ
ト豫想シテ居タル状態ハ、是ハ確カナ事實デアリマス、其大
事變ノ起ル少シ前ニ、彼處ニ居ル居留民ニ引揚ゲヨト一旦
言ツタキニ、海軍將校ガ行カレテ出兵ニ決シタカラ引揚ゲ
ル必要ハナイト云フコトデアリマシタ、又慥カ彼處ニ居ラ
レタ領事カラモ引揚ゲルコトニ付テ、度々外務省ニ御相談
ガアツタヤウデアリマスガ、ソレデモ差支ナイカラト云フ
デ、到頭引揚ゲズニ置カレタノデアリマス、之ヲ今更責任ヲ
云々ト云フノデアリナイガ、是等ハ寧ロ政府カラ引揚ゲヤウ
ト思ツタモノヲ、安全ニシテ遺ルト云フ思召ノ下ニ在留シテ
居タル間ニ、斯様ナ事變ヲ惹起シタノデ、今其責任ヲ彼此レ
言フノデアリマセスガ、寧ロ引揚ヲ希望シテ居タル者ヲ引
揚ゲサセズニ、斯様ナ目ニ遭ハセタト云フコトニ付テハ、餘
程ノ御考慮ヲ加ヘテ貰ハナケレバナラスコト、私共ハ思フ
ノデアリマス、然レモ今ノ御説ニ依ルト、申請後死亡シタ者
ハ、是ハ多少事情カ違ヒマセケレドモ、尼港ニ居ル者ノ中ニ
ハ今仰セノ如ク、殆ト原籍モ錄ニ分ラヌヤウナ者モアリ、又
其時ノ避難關係者ノ中ニハ、隨分貧弱ナ人モアツテ、氣ノ毒
ナ状態ニナツテ居リマス、是等ニ對シテハ多少向フガ所謂權
利ノ上ニ眠ツテ居リマシテモ、多少政府ノ方カラデモ御注意
位ハ御内達アツテ御決定ナルコトハ私ハ必要デナカラウカ
ト思ヒマス、是ハ唯法律ニ手加減ヲ加ヘルト云フコトハ、私
ハ希望トシテ此場合ニ申述ベテ置キタイト思ヒマス、更ニ
一寸私カラ之ニ關聯シテ御尋シタイノデアリマスガ、外務
大臣ノ御答辯ノ中ニ尼港ノ事件ニ付テハ多ク死亡致シマ
シテ、申請シテアル件數ハ甚ダ少イ、先ツ六件ゴザイマシテ
其金額ハ四百六十五萬圓餘ニナツテ居ルト云フコトヲ云フ
コトニナツテ居リマス、洵ニ此尼港ノ事件ガ一番重大ナ事件
ノ一ツニ數ヘラレテ居リマス、其中僅六件シカ申請シタ
者ガ居ラヌト云フコトニナツテ居リマスガ、此尼港ノ六件ア
リマシタノヲ、其人間ノ數ヲ御説明ハ出來マセヌカ、人間ノ
數デハアリマセヌ、人名ヲ六名許リデアリマスカラ——併
セテ損害ノ要求額モ分リマスカラ大體ノ數字デ宜シウゴザ
イマスカラ……

○田中政府委員 人名ヲ申上ゲマスコトハ無論憚リマセヌ
ト考ヘマスガ、損害ノ要求額ヲ茲デ申上ゲマスコトハ如何
カト存ジマス、ソレハ避ケタイト存ジマス、人名ハ日本毛皮
株式會社ト云フノガ一ツ、ソレカラ日本毛皮株式會社ノ社
員ノ二人ノ損害申請ト云フノガ一ツ、ソレカラ日露實業會
社ノ損害申請カ一ツ、ソレカラ中溝兵庫ト云フ人ガ是ハ醫

者ヲヤツテ居タル人デアリマス、ソレカラ島田元太郎ト云フ
人、ソレカラ河内多一、是ハ皆向フデ島田君、河内君共雜貨
其他ノ商賣ヲシテ居リマシタ、是等ハ外務省デ受付ケテ居
リマス

○山道委員 此毛皮會社ト云フモノ及日露實業會社ト云フ
モノハ、此島田元太郎ト關係ガアリマスアカリマセヌカ
○田中政府委員 私ハ其島田元太郎ト云フ人ガ此毛皮會社
竝ニ日露實業會社ニ關係ノ有無ハ知リマセヌ、併ナガラ此
損害ノ申請ハ重複シテ居リマセヌ、島田ノ損害ノ申請ト毛
皮、日露、兩會社ノ損害ノ申請ハ内容ハ重複致シテ居リマ
セヌ

○山道委員 此ハ此際ハ質問ト云フコトニ致シマス御
迷惑ノ點ガアルカモ知レマセヌカラ、質問ノ形ニセズシテ
御聽取ヲ願フテ置キタイ、此尼港ノ事件ハ多クノ者ガ死シ
居リマシテ、殘ツテ居リマス者ハ極ク僅カデアリマス、主ナ
ル者ハ——島田河内ト云フ者ハ是ハ主ナル證人デアリマ
ス、日露戰爭後ノ救恤ニ付キマシテモ、救恤金ノ分配方ニ付
キマシテ此尼港ノ事件ニ對シテハ奇怪千萬ナル金ノ分配方
ニナツテ居ル事ハ御承知ノコトデアラウト思フ、又此度ノ報
告ニ依リマシタト云フ、之ヲ見マスと云フ、金額ハ御明記
ニナツテ居リマセヌガ、併シ僅カナ人ニ限ラレテ居リマスハ
私ガ此尼港ノ事件ノ後ニ行キマシタ時ニハ、何某ナル者ハ
其土地ニ在留シテ居リマシタ有力ナ商人デアツテ、其事情ヲ
其當時參リマシタ新聞記者デアルトカ、吾々ノ如キ代議士
マデニ訴ヘヤウトシタ、ナシガ當時ノ實狀ヲ話ス者ガ對黨
ノ新聞記者ニ對シテ、ナシガ當時ノ實狀ヲ話ス者ガ對黨
ト、他日救濟ヲシテ貰フ時ニシテ置ケト云ツテ、威嚇ヲ試ミ
テサウシテ何モ彼モ俺ニ一任シテ置ケト云ツテ自分ニ都合
ノ好イコトデアレバ、政府ノ方ニ話サセル、自分ノ都合ノ惡
イトキニハ話サセナイ、殊ニ何某ナル者ハ尼港ノ事變後ニ
行キマシテ、其處ノ家モ此處ノ家モ前ニハ自分ノ家デアツ
ト云ツテ、其家ニ還入リマシテ自分ノ損害ハ斯ウデアツタ
、デアツタト云ウテ、多額ノ損害ヲ申立テ、サウシテ洵ニ
言フヲ憚リマスルヤウナ不都合千萬ナ事ヲシテ、有ユル是
等ノ在留シテ居ル人ニ對シテ、或ハ參謀本部ノ牒者デア
ルトカ、外務省邊ノ援護ガアルト云フコトヲ笠ニ着テ、有ユ
ル事ヲシマシテ、又陸軍ノ字品ノ運輸部カラ行キマシタ若
イ軍人ノ中ニハ、前年尼港ニ行ツテ居タルカラ、ソレハ御前
ノ家デアリナイト云ツテ、家ヲ取上ゲマシタ、ソレカラ何某ナル
者ハ露西亞人ナドヲ澤山集メテ、銀行ノ出來損ヒミタヤウ
ナモノヲ拵ヘテ、サウシテ「ルーブル」ヤ寶石ナドヲ預ツテ
尼港ノ事變後ニ二東三文ノ「ルーブル」ダケヲ返シテ、寶石
ヲ返シテ呉レト云ツテモ寶石ハ燒ケテシマツタカラト云ツテ

第五類第十四號 露國政變及西比利亞事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案委員會議錄 第一回 大正十一年二月二十一日

如何ニモ慈善家振ヲヤウナ事ヲシテ、サウシテ官憲ニ對シテ虚偽ノ申立ヲシテ居ル者ガアルノデアリマス、又其財産見積ナドト云フモノハ、洵ニ不當ナモノデアリ、現ニ何某ナル者ノ家ノ支配人ナリ番頭自身ガ言フ所ニ依リマス、ト云フト、何某ナル者ノ組織スル何々會社ハ破産スル所デアッタ、ソレガ事變ガアツタ爲ニ助カリマシタ、斯ウ云フ者ガ今度ノ救恤金ニ對シテハ、有スル人間ヲ代表シタカノ如ク、露西亞人、日本人、朝鮮人ニモ彼様ナ事ヲ言フテ、無智ノ人間ヲ取籠メテ、自分ガ其代表者ノ如クナツテ、俺ニ委シテ置ケバ澤山ノ賠償ガ取レルノデアルカラ、俺ニ委シテ置ケト云フヤウナコトヲ私ハ仄ニ聞イテ居ル、現ニ先年モ議會ノ問題ニ上リマシタトキニモ、サウ云フ運動ヲ行フ者ヲ承知シテ居リマス、是ハ今御尋シマシテモ、御答アルコトハ御困難デアラウト思フガ、丁度日露戰爭ノ時分ニ實ニ不徳背信ノ行爲ガ行ハレマシタト同ジク、又此尼港ノ事變ニ不當ナル利益ヲ得ルト云フコトガアリマスナラバ、洵ニ死シタ者ニ對シテモ國家トシテ容認出來ヌコトデアル、ドウカ此點ハ質問ヲシテモ御答ガ難カラウト思ヒマス、質問ト云フノモ語弊ガアリマスガ斯ウ云フ點ニ特別ニ私ハ御注意ヲシテ置イテ戴キタイト思フ、是ハ私ハ努テ此事ハ申シテ置キマス、此案ヲ審議スルトキニ——特ニ私ガ申シテ置キマス、ドウカ此審查ヲ爲サル上ニ於テハ、十分御注意ヲ以テ御審查下サレ

ンコトヲ私ハ切ニ御願シテ置キマス、是ハ尼港遭難者ニ對シマシテモ、亦此恩典ヲ受ケマシタ家族ノ人ニ致シマシモ、亦日本國家ニ致シマシテモ、大切ナル事デアリマスカラ、特別ニ御願シテ置キマス、高草君カラモ御質問ニナリマシタガ、審查會ト云フモノニ對スル内容ノ御起案デモ出來テ居リマスナラバ、ドウ云フ種類ノ人ヲ集メテ、ドウ云フヤウナ審查ヲ爲サルノデアルカ、出來ルダケ詳細ニ御答辯ヲ願ヒタイ

○田中政府委員 只今前段ニ申上ゲマシタ事ニ付キマシテハ、無論場所柄デアリマスカラ、色々事實ナリ名前ナリヲ十分申述ベラレマセヌゴザイマスカラ、私共ニ取リマシテモ、只今伺フタ事ダケ直グの確ナル頭ヲ造ルト云フコトハ困難デアリマスガ、併シ此救恤審查會ト云フノガ出來マスルト云フコト、自然今ノ山道代議士ノ如キ其地方ノ事情ニ通ジテ居ラレル方ノ陳述ヲ求ムルヤウナコトガアラウト思ヒマス、其場合ニドウカモウ少シ的確ニ仰セラレルコトガ出來タナラバ、尙ホ此方モソレニ對シテ具體的ニ考慮ヲ與ヘルコトガ出來ヤウト考ヘマスカラ、サウ御承知ノ願ヒマス、ソレカラ第二段ニ御質問ノアリマシタ救恤審查會ノ構成ニ關シマシテハ、マダ政府ニ於テハ確カト決定シテ居リマセヌ、併ナガラ大體ハ日露戰役ノ當時ノヤウナ組立ニシ

タイト云フ腹案ヲ持ッテ居リマス、隨テ審查會ノ委員ハ大體政府部内ノ者ガ之ニ任ズルト云フコトニナラウト考ヘテ居リマスルガ、只今申シマスル通り、何等確定シテ居リマセヌ

○田中政府委員 此第二條ニ百五十萬圓ト云フ標準ヲ極メマシタコトニ關シマシテハ、先程開會ニ當リマシテ、私ノ説明シマシタ中ニ、相當詳シク申上ゲタ積リデアリマスガ、丁度川崎代議士ハ來テ居ラレナカッタノデアリマス、要スルニ此金額ノ決定ト云フモノハ無論ハ甚ダムジカシイ問題デアリマス、何レニシテモ多少ノソコニ缺陷ガアラウト考ヘルノデアリマスガ、併シ之ヲ又非常ニ多額ニ極メルト云フコトハ、財政其他ノ都合上無論出來マセヌ、又餘リニ少額ニ失シテハ、救恤ノ精神ガ貫徹シナイ事ニナルノデ、此百五十萬圓ノ數字ヲ出スニ付キマシテハ吾々ノ方ニ於テモ十分慎重ニ考ヘタ結果デアリマス、ソコデ日露戰爭ノ例ニ依ルト言ヒマシタノハ、日露戰爭ノ例ニ依ル部分ガ極ク其少部分デア

○田中政府委員 此帝國臣民トアリマスルノハ、朝鮮人デアリマシテモ、矢張帝國臣民デアルト云フ見地カラ、此法律中ニ含マル、ト云フ考デアリマスガ、併ナガラ一方ニ於テハ斯ウ云フ問題ガアルノデアリマス、露國方面ニ居リマスル朝鮮人ハ、中々多數ニ居リマスガ、是ハ隨分古カラ露國方面ニ移住シテ居ル者ガ多數ヲ占メテ居ル、是等ハ露國政府時代ニ多クハ露西亞ニ歸化シテ居ル、或ハ又朝鮮ニ民籍ト申シマスルカ、朝鮮ニ籍ヲ有シテ居ル者ハ少イノデ、謂ハル無籍者ガ多數ヲ占メテ居ル、サウ云フ者ガ或ハ露西亞ニ歸化シタ者デアル、露西亞ニ歸化シテ居ル者ヲドウ取扱フカト云フコトハ、別ニ國籍法ノ問題ニナリマスガ、兎ニ角純然タル帝國臣民デナイ者ガ多イ、之ニ對シテ果シテ帝國臣民同様に救恤ヲスルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、ハ救恤審查會ガ決定スルヨリ外ハナカラウト考ヘテ居リマス

○田中政府委員 如何ニ御考ヘナリマスカ

○島田委員長 川崎君——通告順ニ依リマス

○川崎委員 私ノ御尋ヲ致シタイノハ、先程ノ大體ノ質問應答ニ依ツテ、私ノ御尋セントスル、或部分ハ了解ヲ得テ居リマスガ、此救恤費ノ百五十萬圓ノ出テ來タ基礎ハ、日露戰爭當時ノ標準ニ據ツタモノデアルカ、其當時ノ損害二十分ノ一ヲ標準トシタモノデアルカ、其損害ノ標準ハ申出ラ基礎トシタモノデアル、斯ウ云フ御答辯デアツタヤウニ承リマス、先ヅ其標準ハサウ云フモノニ依ツタコト、シテ承ツテ置イテ宜シイガ、大體此露西亞ノ政變ト西比利ニ付キマシテ、數回ニ起ツタ遭難事件、此間ニ於テ遭難ヲ受ケタ者、引揚ヲ爲シタル者、東部西比利ダケ約四千八百人ト大體見積ツテ宜イト思ヒマスガ、其四千八百人ノ人ニ對シテ百五十萬ノ救恤費ヲ出スト云フコトニナルト、先ヅ一人當リ四百圓ニシカナラヌ、成程百五十萬圓ト云フモノハ金ハ大キイヤウニ見ルガ、與地カラ出テ來テ遭難ヲシテ歸ヘル者ノ旅費ニモ當ラナイヤウナ金額ニナルト思フノデアリマス、ドウモ此點カラ見マ

○川崎委員 此救恤費ノ百五十萬圓ノ出テ來タ基礎ハ、日露戰爭當時ノ標準ニ據ツタモノデアルカ、其當時ノ損害二十分ノ一ヲ標準トシタモノデアルカ、其損害ノ標準ハ申出ラ基礎トシタモノデアル、斯ウ云フ御答辯デアツタヤウニ承リマス、先ヅ其標準ハサウ云フモノニ依ツタコト、シテ承ツテ置イテ宜シイガ、大體此露西亞ノ政變ト西比利ニ付キマシテ、數回ニ起ツタ遭難事件、此間ニ於テ遭難ヲ受ケタ者、引揚ヲ爲シタル者、東部西比利ダケ約四千八百人ト大體見積ツテ宜イト思ヒマスガ、其四千八百人ノ人ニ對シテ百五十萬ノ救恤費ヲ出スト云フコトニナルト、先ヅ一人當リ四百圓ニシカナラヌ、成程百五十萬圓ト云フモノハ金ハ大キイヤウニ見ルガ、與地カラ出テ來テ遭難ヲシテ歸ヘル者ノ旅費ニモ當ラナイヤウナ金額ニナルト思フノデアリマス、ドウモ此點カラ見マ

○川崎委員 此救恤費ノ百五十萬圓ノ出テ來タ基礎ハ、日露戰爭當時ノ標準ニ據ツタモノデアルカ、其當時ノ損害二十分ノ一ヲ標準トシタモノデアルカ、其損害ノ標準ハ申出ラ基礎トシタモノデアル、斯ウ云フ御答辯デアツタヤウニ承リマス、先ヅ其標準ハサウ云フモノニ依ツタコト、シテ承ツテ置イテ宜シイガ、大體此露西亞ノ政變ト西比利ニ付キマシテ、數回ニ起ツタ遭難事件、此間ニ於テ遭難ヲ受ケタ者、引揚ヲ爲シタル者、東部西比利ダケ約四千八百人ト大體見積ツテ宜イト思ヒマスガ、其四千八百人ノ人ニ對シテ百五十萬ノ救恤費ヲ出スト云フコトニナルト、先ヅ一人當リ四百圓ニシカナラヌ、成程百五十萬圓ト云フモノハ金ハ大キイヤウニ見ルガ、與地カラ出テ來テ遭難ヲシテ歸ヘル者ノ旅費ニモ當ラナイヤウナ金額ニナルト思フノデアリマス、ドウモ此點カラ見マ

タノデアリマス、ソレカラ只今ノ其引揚者ノ數ニ付キマシ
テハ、是モ先程一應説明シマシタガ、成ル程或ル時期ニ引揚
ガタト云フ數ヲ合算致シマスト云フト只今ノ仰セノ如ク千
人近クニナルノデアリマス、併ナガラ或ル地點カラ或ル地
點ニ引揚ガテ、事態ガ變テ第三ノ地點ニ引揚ガタト云フヤ
ウニ重複シテ居ル場合ガ必ズアル、ソレデ失張實際ノ數ハ
ソレヨリモ少カラウト見テ居リマス、況ンヤソレデ子供モ
老人モ含ンデ居ルノデアリマシテ、其家族ノ數ヲ致シマシテ
ハ、先程申シマシタ通り、先ヅ千家族、所謂千戸位ダラウト
斯ウ云フ考デアリマス、ソレカラ旅費ノ御話モゴザイマシ
タガ引揚ノ場合ハ多ク旅費ノ金ヲ支給シマセスト思ヒマス
ガ、乗物ノ便宜ヲ與ヘテヤル、實際上無賃デ引揚ガテ來ルト
云フヤウナ場合ガ最も多イノデアリマス、ソレカラ其千人
デモドラニシマシテモ、百五十萬圓デハ少イ、斯ウ云フ御
説デアリマスガ、是ハ吾々モ同情セベキ點カラ考ヘマスレ
バ、成ル程百五十萬圓デモ少イト思ヒマス、併ナガラ物
ニハ凡ソ程度ガアリマス、殊ニ此法案ノ趣旨ハ救恤
デアリマス、政府トシマシテハ、色々考ヘタ結果、先ヅ百五
十萬圓位デ至當デナイカト考ヘマシテ、此金額ヲ算出シタ
ノデアリマシテ、無論ハ數字デ彈キ出スヤウ、斯ウ云フ
譯デアリカラ、百五十萬圓ニ一厘一毛モ増減ハ出來ヌモノ
デアルト云フヤウナ詰論ヲ下シ材料ハ無論持チマセヌノデ
アリマスガ、大體ノ所カラ百五十萬圓ト云フ數字ヲ出シタ
ノデアリマスカラ、其點ハサウ御諒察ヲ願ウテ置キマス

○川崎委員 大體御説明デ分リマシタガ、此百五十萬圓ノ
分配ヲスルト云フコトニ付キマシテハ、勿論審査會ノ審査
ノ結果ニ俟タナケレバナラヌガ、是ハ唯伺ッテ居ルダケデ、
果シテ斯様ノ御方針デアルカ、又左様ナコトガ行ハレント
シテ居ルノカハ知リマセヌガ、私共耳ニスル所ニ依ルト、此
百五十萬圓ノ救恤費ノ中デ、殊ニ露國政變ノ中デモ最も悲
慘ノ運命ニ遭遇シタニ港ニ於ケル在留民、此在留民デアリ
シ者及ソレ等ノ遺族ニ向ッテハ、特別ノ關係ヲ以テ特別ノ手
當ヲセラルル積リデアルト云フヤウナ意味ニ於テ、是等ノ
代表者ガ或ル金額ヲ限ッテ、例ヘバ百五十萬圓ノ中七十五萬
圓ヲ尼港ニ貰フノダ、其三分ノ一ハ尼港ニ貰フノダ、斯ウ
云フヤウナ風説ガ傳テ居ル、實ニ是ハ怪シカラヌ事ダト思
フ、無論審査會ヲ經ナイデ、斯様ナモノガ生レ出ル筈ガナイ
ト思ヒマス、最も公平ニ行ハレナケレバナラヌト思ヒマス、
唯ニ港デアアルカラ、地理的ニニ港デアアルカラヤルト云フヤ
ウナコトデナク、全體ニ對シテ普遍的ニヤル御考デアリマ
スカ、或ハ地理的ニ特ニニ港ノ事件ハ氣ノ毒デアタカラト
云フノデオヤリニナル御考デアリマスガ、其所ニ多少私共
疑ヲ抱ク、私共ハ尼港ノ事變ト云モノニ付テハ、此救恤費以
外ニ國家ニ對シテ要求スベキコトガアル、又國家モ「レニ
ン」政府ヲ將來相手ニスルカ、今日ハ「チタ」政府ヲ相手ニ
テ、此問題ニ付テ折衝セラレテ居ルヤウデアアルガ、是ハ又別
ナ方法ニ依ッテ救済ノ途ヲ立テルコトニシテ、救済費ト云フ
モノ、分配ハ、單ニ地理的ニニ港ニ限ッテ幾ラヤルトカ、ヤ
ラストカト云フコトヲ限定スベキモノデアアルマイト、私共
ハ思ッテ居リマスガ、政府ノ御方針ハサウデナシニ、尼港ニ
五十萬圓ヤルトカ、或ハ半額ヲヤルトカ云フ御方針、御腹案
デモアリマスガ、世間デハ斯様ナコトヲ傳ヘテ居リマスガ
ラ、政府ニモ左様ナ腹案ガアリマスガ、此點ヲ確メテ置キタ
イ

○田中政府委員 此救恤費ノ分配ニ依ルベキモノハ法律デ
アリマス、此法律ニハ地方の若クハ個人的ノ救恤費ノ分配
ニ付テ何等支出シテ居リマセヌ、隨テ只今ノヤウナ事ハナ
イト存ジマス、尙ホ風聞ト致シマシテハ、色々ノ事ヲ申シテ
居ルノデアリマシテ、是ハドウモ色々爲ニスルタメデアラ
ウト思ヒマスガ、ソレニ付テ私共ハ一々辯駁ハ致シマセヌ
ガ、兎ニ角是ガ出來マシタ以上ハ、此出來マシタ法律ニ依ッ
テ進行スル、其法律ニハ地理的の若クハ個人的ノ分配ノ方法
ハ定メテナイト、是ダケノ事ヲ申シテ置キマス

○川崎委員 能ク分リマシタ、審査會ノコトニ付テ、山道君
カラ色々御説モアリ、又御註文モアッタヤウデアリマスガ、
私モ同ジ考ヲ持ッテ居リマス、願クハ此審査會ト云フモノ
ハ、成ベク主ニ役所ノ人位デ、外ノ民間ノ人ヲ入レラレト
シテモ、政黨政派ニ超越シテ居ルガ宜カラウト思ヒマス、審
査會デ運動ガ行ハレタリ、醜怪ナ裏面ニ色々ノ事ガ行ハレ
ルト云フコトガ宜シクナイト思ヒマス、是非此審査會ニ付
テハ日露戰爭ノ例モアッタト云フコトデアリマシタガ、政黨
政派ニ超越シテ、審査會ガ極ク公平ニ救恤金ノ分配ヲスル
ト云フコトニアリタイト思ヒマス、是ハ希望トシテ申シテ
置キタイト思ヒマス、此序デニ是非伺ッテ置キタイト思ヒマ
スノハ、此日露戰爭ノ救恤ヲオヤリニナッテ後、今日迄無イ
譯デアリマスガ、私ハ日露戰爭ノ時分ニ起ッテ、田中サシモ
御承知デアリマセウガ、城津ノ燒打事件、是ハ實ハ悲惨ナ出
來事デ、此間ノ事情トシテハ外務省ニ於テモ城津ノ燒打事
件ハ皆御承知デアラウト思ヒマス、外ノ事ハ皆救恤サレテ
居ル、唯城津ダケ殘テ居ル、此城津ヲ殘シテ置クト云フノ
ハ、ドウ云フ譯デアアルカト云フコトニ付キマシテハ、理由ガ
何モナイ、當時城津ノ避難民ハ屢々議會ニ陳情ヲシタノデ
アリマスガ、度々陳情ヲスル毎ニ旅費ヲ使ヒ、色々費用ガ要
ラシ様ガナイト云フノデ、今日ハ泣寝人ノ狀態デアアル、ソ
レガ爲ニ運動モ能ウシナイ、當然主張スベキ權利モ能ウ言
ハナイ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレデハ公平ニ救

恤ヲナサルト云フ御精神カラ見ルト、城津ダケ抛ッテ置クト
云フコトハナイ、實ヲ言フト城津ガ燒討ヲセラル、前ニ逃
ダラレタガ、政府ノ方デ安心ヲセヨト言ッテ、是ハ現内閣ヲ
責メル譯デナイガ、時ノ内閣ハサウデアッタ、マダ抛ッテア
ル、斯ウ云フ事ハ默ッテ居リサヘスレバ抛ッテ置クト云フコ
トハイカスト思フ、今日露西亞ノ政府ニ付テ救恤費ヲ御出
シニナルナラバ、先ヅ先ニ城津ノ問題ヲ御解決ニナル必要
ガナイカ、私ハ城津ノ近所ニ二年間居ッテ事情ヲ知ッテ居リ
マス、併シ今日デハ請願シテモ聞容レラナイデ、旅費バカ
リ使ッテ致方ガナイト言ッテ、已ムラ得ズ默ッテ居ルガ、併シ
ソレデ満足シテ居ルカト言ヘバ、満足シテ居ラヌ、政府ハ之
ヲ如何ニ御處分ナサルカ、斯ウ云フ問題ヲ御出シニナル前ニ
當ッテ、先ニ片付ケナケレバナラヌ問題ヲ其儘ニシテオヤリ
ニナル、其事モ此機會ニ於テ政府ノ御辯明ヲ伺ッテ置キタ
イ

○田中政府委員 只今ノ城津ノ事ニ付キマシテハ、能ク知
リマセヌ、追テ取調ベマシテ、御返事ヲ致シテ宜シウゴザイ
マスガ、此際此日露戰爭當時ノ救恤金ノ分配若クハ交付ノ
方法ニ對スル缺點ニ付テ御述下サシマシテハ、如何トモ出
來ナイ事件デアリマス、サウシマスレバ、是ハ新タノ問題ト
シテ考慮ヲスルヨリ外ニナイノデアリマスガ、只今ノ事件
ハドウ云フ事カ私モ能ク存ジマセヌケレドモ、日露戰役ノ
救恤ヲ致シマシテカラ十數年経ッテ今日、更ニ其當時ニ救恤
ニ洩レタ者ガアル云フコトデ、今日更ニヤルト云フコトハ
大變困難デナイカト考ヘマス、併ナガラ只今城津云々ノ事
ニ付キマシテハ、更ニ取調ベマシタ上デ、コチヲノ考ヲ申上
ゲタイト思ヒマス

○川崎委員 時間ガ経ッテ居ルト云フ御話デアリマスケレ
ドモ、一應御注意ノ爲ニ申上ゲテ置キマス、日露戰爭ノ跡仕
末ガ付カナクテ殘ッテ居ッテ事件ノ中デ、今司法省ノ參事官
ヲシテ居ラル、上基安太郎君ガ唱ヘラレテ居ッテ問題ノ如
キハ、四五年前ニ解決シタ、日露戰爭後十年モ殘ッテ居ッ
テ、而シテ城津ノ問題ダケ、タッタ一ツ殘ッテ、上基君ガ此城津問
題ニ付テモ、ヤカマシク議會デ御言ヒニナッテ、是ハ是非御
調ヲ願ヒタ
イ

○高草委員 段々質問ガアリマシタ、政府ノ御辯明並ニ議
員ノ方ノ御質問ニ依リマシテ、私ノ質問スルコトハ大部濟
ミマシタノデアリマス、二三御尋シヤウト思ヒマス、救恤金
ト申シマスル方ハ、是ハ個人ニ關係スルコトデアリマスガ
ラ、個人ノ方ニ取ッテハ重大ナ問題デアリマスガ、將來此總
テノ損害ニ對シテ損害賠償ノ要求ヲスルト云フコトハ、國
家ノ上カラ言ウテ餘程大キナ問題ト私共考ヘテ居ルノデア
リマス、而シテ今承ル所ニ依リマスト、先ヅ損害ノ高ガ約三

千萬圓、斯ウ云フ事ニナツテ居リマス、隨テ救恤金ハ日露戰爭ノ分配額ニ依ッテ、約二千萬圓ノ二十分ノ一ニ當ル百五十萬圓ヲ計上シテアルト云フ御説明デアリマス、私ハ第一番ニ此政府ガ將來露西亞政府ノ安定ヲ待ッテ、損害賠償ヲ要求スルコト云フコトハ、私ノ先日ノ質問ニ依ッテ外務大臣ガ明ニ仰セニナツタノデアリマスガ、將來露國政府ニ要求セラルル損害高ハ、只今ノ所デ政府ハ三千萬圓ノ損害ガアルト云フコトノ調査ガ御確定ニナツテ居ルカドウカト云フコトヲ一番ニ御尋シタイ

○田中政府委員 此二千萬圓云々ノ算定ノ基礎ハ、外務省ニ任意ニ申出デタモノヲ標準ト致シマシテ、尙ホ申請洩レシ若クハ尼港ノ如キモノヲ加ヘマシテ、其推定額ヲ加ヘマシテ、二千萬圓トシタノデアリマス、併ナガラ是ハ今回ノ法律ヲ出スニ付キマシテ、其標準ヲ決メタモノデアリマシテ、之ガ即チ今後一定不變ノ對露交渉ノ場合ニ於テノ一定不變ノ損害額トナルベキモノデアリマス、中兼ネマス、ノミナラズ是ハ所謂個人損害デアリマスカラ、露西亞政府ト交渉スベキ損害トアリマスハ、寧ロ個人損害場合ニ於キマシテハ或多イノデアリマスカラ、請求スル場合ニ於キマシテハ或ハ個人損害ノミデハナク、ソナ關係カラ其金額モモット多クナルト云フコトニナラウト考ヘマス

○高草委員 序ニ關聯シテ居リマスカラ、承ッテ置キタイ、直接ニ此法律案ニ關係ハアリマセヌガ、私ハ此際ニ確メテ置キタイノハ、私ノ想像通り三千万圓ト云フ此損害ガ個人ニ取ッテ國家ニ取ッテ實際ノ高ト私モ考ヘテ居リマセヌ、是レ以上大ナル損害ガアルト思フノデアリマスガ、サウ致シマスト云フト、今日マデモ二箇年有餘經ッテ居リマスカラ、イツ露西亞ノ政狀ガ安定スルカモ分リマセヌガ、更ニ其安定ヲ待ッテ無論御交渉ナサルコト、考ヘマスガ、サウ致シマスト、安定シマシタ政府ガ出來マシテ、日本ノ政府トシテ損害賠償ヲ要求セラル、場合ニ當リマシテ、其損害ノ今日マデ調査致サレテ居ル所ノ高ヲ承ッテ置キタイ、御分リニナツテ居リマセヌ

○田中政府委員 只今ノ御尋ハ所謂國家損害ノ高ガドノ位ニナツテ居ルカ、斯ウ云フ事ト思ヒマスガ、ソレハ政府ニ於キマシテモ、相當ノ資料ハ出來テ居リマス、相當ノ資料ハ出來テ居リマスガ、併シ愈々是ダケノモノヲ持チ出スト云フヤウナ確定のナモノハマダ出來テ居リマセヌカラ只今ソレヲ明言スル時期ニ達シテ居リマセヌ

○高草委員 サラ致シマセヌレバ二箇年モ經過シテ居ル今日ニ於テ、國家ノ損害ヲ實際ノ額ノ調査ガ出來テ居ラヌト云コトニ考ヘテ宜シウゴザイマスカ
○田中政府委員 私ノ申シマシタノハ、損害ノ調査ノ資料

ハ十分ニアリマスガ、今日此場合ニ於テ其額ガドノ位ニナツテ居ルト云フコトヲ、茲ニ明言スルノ時期ニ達シテ居ラヌト云フコトヲ申シタノデアリマシテ、調査ガ出來テ居ナイト云フコトヲ申シタ譯デハアリマセヌ

○高草委員 分リマシタ、水産局長ガ御見エニナリマシタカラ序ニ伺ヒタイノハ、此法案ニ百五十萬圓出テ居リマスガ、此百五十萬圓ノ中ニハ過日モ私ガ本會デ質問致シマシタ當時申述ベシヤウニ「オコソク」海ニ於ケル漁業者ノ被リマシタル損害ハ、漁場ガ三十一箇所デ、其損害ノ高ヲ調べテ見マスト、殆ド七百三十萬圓ニナツテ居ル答デアリマス、此七百三十萬圓ト云フコトハ豫テ承知致シテ居リマスガ、サウ致シマスト、其二十分ノ一ニ當ル金額ガ此百五十萬圓ノ中ニ加ハツテ居ルカドウガ、ソレヲ一ツ農商務省ノ側ニ御尋シタイノデス

○村上政府委員 只今ノ御尋ニ付テハ今ノ數字ノ當否ハ別問題デアリマスガ、相當此中ニ加ハツテ居ルモノト諒解シテ居リマス

○高草委員 此内容ハ過日私ガ御尋セシマシタノデアリマスガ此被害ニ付テハ軍人軍屬ヲ除キマシテハ、實業者ガ多イノデアリマス、實業者ト云ヘバ農商務省ニ關係ノアル人ガ多イノデアリマス、是ハ外務省ト農商務省トノ間ニ交渉協調ガ出來テ居ルカト云フコトヲ御尋シマシタラ、相當相談ヲシタト云フ御答デアリマシタガ、只今ノ御説明デハドウモ満足ガ出來マセヌ、今少シ十分ニ御交渉御協調ガ出來テ居レバ、此百五十萬圓ノ中ニハ漁業者ノ被害高ガドノ位加ハツテ居ルト云フコトノ、明白ノ御答ガナレバナラヌ答ト思ヒマス、今一應御説明ヲ願ヒマス

○村上政府委員 ソレハ漁業者ノ申立ノ數字ハ私ノ方ニモ參ッテ居リマス、又同ジモノガ外務省ニモ出テ居リマシテ、其金額ニ差ハナイコト、思ッテ居リマス、併シソレハ漁業者ノ申立デタ數字デアッテ、其數字ヲドレダケ認ムルカト云フヤウナ査定ノ結果ニ付キマシテハ、今後進行シタ後デナイト一致スルカドウカ分リマセヌ、併シ大體ノ目標ニ付テハ當業若ノ申立ガアリマスカラ、其點ニ付テハ一致スルコトト思ッテ居リマス

○高草委員 ソレカラ此案ヲ議スルニ付キマシテ、一番重大ナル問題ト考ヘマスノハ分配ノ方法デアリマス、是ハ過日モ本會デ質問致シタノデアリマスガ、是ハ損害高ニ應ジデ分配ナサルノデアアルカ、或ハ憐レムベキ者ヲ目標トシテ分配ナサルノデアアルカト問ヒマシタラ、ソレハ共ニ考慮ノ中ニ加ヘルト云フ御答デアリマシタ、併シ私考ヘマスト、損害ヲ受ケマシタ者ノ實情ガ三通リニ分レルト思ヒマス、ソレハドウ云フコトカト申シマスト、同ジ損害ヲ被リマシ

タ者デモ、例ヘバ百萬圓ノ資産ノアル者ガ三十萬圓事變ノ爲ニ損害ヲ被ッテ致シマシテモ、苦痛ハ苦痛デアルガ、其度ハ輕イ、殘ル七十萬圓ノ資産カ持つテ居ルカラ生活ヲスルニモ仕事ヲスルニモ大ナル苦痛ハナイノデアリマス、其次ニハ損害ヲ被リマシテモ、損害ヲ被ッテ爲ニ生活ハ出來ルカ、資本ヲ全ク失ッテ爲ニ仕事ガ出來ヌト云フ階級ノ者ガアル、其次ニハ損害ヲ被ッテ爲ニ生活ノ安定ヲ失ッテ、生活モ仕事モ出來ヌ、或ハ主人ナリ其他ノ者ガ死亡シテ、後ニ遺孥者ハ殆ド食フニ困ルト云フ階級ガアル、デ私ノ考デハ救恤ト云フモノハ此最モ憐レムベキ者ニ對シテ其人ヲ救フト云フコトガ主デナレバナラヌト思ヒマス、而シテ過日ノ外務大臣ノ御答ニ依ルト、其點ヲ考慮スルト云フコトデハアリマシタガ、私ハ損害ヲ被ッテ手モ足モ出ナイヤウニナツタト云フ最モ憐レムベキ者ト、其以下ノ者トハ、其間ニ相當ノ區別ヲスルト云フコトガ救恤ヲスルト云フ趣意カラ必要デハアルマイカト思フノデアリマス、私ノ今申シタコトヲ簡單ニ申シマスト、政府ガ救恤ヲナサルノニ物ニ依ッテナサルノカ、人ニ依ッテナサルノデアアルカ、斯ウ云フコトニナルコトデアリマス、此分配ハドウ云フ方針デナサルノカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス

○田中政府委員 救恤金ノ分配ノ標準ト云フコトハ、洵ニ御尤ノ問題デアリマス、只今高草君ノ言ハレタノモ中ニ道理ノ問題デアリマス、同時ニ、又果進ト云フカ、果退ト云フカ、金額ヲ減スト云フコトハ不公平デアルト云フ議論モ亦一説デアリマス、サウ云フコトハ總テ審查會ノ審查ニ俟ッノデアリマス、只今ノ高草君ノ御説ノ三段ニ分チテ救恤ノ標準トスルト云フコトハ、非常ニ有力ナル御説トシテ參考ニハ致シマスガ、私ハサウ致シマスト明言スル地位ニ居リマセヌ

○高草委員 私ハ質問ハ是デ止メマスガ、希望ヲ述ベテ置キタイト思ヒマス、ソレハ先般本會デ質問モアリ、川崎サナリ、山道サンカラモ御述ニナリマシタガ、其審查ニ當ル人デゴザイマス、政府ノ御辯明ニ依ルト政府部内ノ人ノミヲ以テ之ニ當ルト云フコトデアリマシタガ、私ハ今ノ所兩君カラ述ベラレマシタヤウニ政府部内ノ人ノミデナシテ、漁業者ノ中カラ、此關係者ノ中カラ矢張組織ヲナスツタガ宜カラウト云フコトヲ私ハ希望スルノデアリマス、川崎君ハ政黨政派ニ超越云々ト仰シヤイマシタガ、其意味ハドウ云フ意味カ分リマセヌケレドモ、無論ハ公平ニ、政府部内ノ人ガ不公平トハ申シマセヌガ、政府ノ人以外ニ之ニ關係シタ、矢張事情ヲ能ク明カニシタ人ヲ御加ヘニナル方ガ宜カラウト云フコトヲ、私共同時ニ希望致シテ置キマス、ソレカラモウ一ツ私共希望ヲ致シテ置キマスノハ、私共甚ダ

遺憾ニ思フテ居リマスノハ、陸ノ方ノコトハ大分兩君カラ御話ニナリマシタガ、私ハ海ノ方即チ漁業者ノ方面ニ對シテ甚ダ遺憾ニ思フテ居ルノハ、何分昨年モ三十幾箇所ノ漁場ヲ破壊セラレ、而シテ船或ハ漁區、倉庫、工場、其他ノ建物ヲ全部燒カレテシマヒマシタ結果、殆ド仕事ヲスルニモ仕事ノシヤウガナイト云フ悲惨ナ運命ニ遭タコトハ御承知デアラウト思ヒマス、而シテ此悲惨ナ目ニ遭ヒマシタ種類モ二通りモアリマス、一通リハドウカト云フト、大ナル會社、大有力ナル會社ハ同ジ悲惨ナ目ニ遭ッタモ昨年アタリハ引續イテ仕事ヲシテ相當ノ成績ヲ得タノデアリマス、所ガモウツノ階級ガアルト云フノハ、是ハ個人デアリマス、個人ハ千辛萬苦ヲ極メテ、アノ「オコック」海ニ出テ、國ノ利益カラ言フテモ、其人ノ利益カラ言フテモ中、二千萬圓、三千萬圓餘程ノ多額ノ金ヲ銑或ハ罾ノ漁業ニ於テ收獲致シテ居リマスカラシテ、是ハ國家ノ上カラ申シテモ、餘程保護ヲシテヤル、又無論獎勵モシテヤラナケレバナラス、所ガ昨年モ能ク々々調ベテ見マシタ所ガ、斯ウ云フ大ナル會社ハ、政府ノ後援モ無論アリマシタ、銀行ハ朝鮮銀行トカ或ハ勸業銀行トカ申シマシタガ、ソレハ私ハ能ク存ジマセス、兎ニ角餘程多額ノ金ヲ借入レテ仕事ヲスル事ガ出來タノデアリマス、所ガ個人デアリマス、後ニ殘ッテ居リマス個々別々ノ個人ハ大ナル被害ヲ受ケタガ爲ニ殆ド仕事ガ出來ヌト云フ定ニ憐レナ狀態ニアッタノデ千辛萬苦ヲ嘗メマシタ結果、其中ノ少數ノ者ガ詰リ再ビ他ノ方面デ金ヲ借入レテ仕事ヲシタ者モアリマスケレドモ、仕事ヲ能クシナイト云フ者ガ多數アッタノデアリマス、斯ウ云フ事ハ、個人ノ利益ト云フモノハ、國家ノ上カラ云フト是ハ餘程ノ重大ナル問題デアリマスルガ故ニ、農商務省ニ於ケレマシテモ、亦外務省ニ於ケレマシテモ、相當ノ個人ニ對シテモ考慮ヲ拂ハレテ御盡力ナサツテ、サウシテ再ビ仕事ヲサスヤウニ、ソレノ方法ヲ講ゼラレルコトヲ私共ハ希望スルノデアリマス、ソレト同時ニ又一面ニ何カ低利資金デモ借りテヤルトカ何トカ云フヤウナコトヲ、一ツ御盡力ナサツテ本年アタリハ追々漁期ニモ切迫致シマスカラ、斯ウ云フ事ハ十分ニ一ツ御盡力下サルコトヲ、此際併セテ希望シテ此質問ヲ了リマス

ト考ヘマス、又個人ノ損害者ニ對シマシテ、私ハ尤ダト同情ヲ持チマシテ、村上君モ同ジク同情ヲ拂ッテ下サイマシテ、其結果或方法ニ依リマシテ、是コソ政府ガ多少ノ後援ヲシテ彼等ノ事業ヲ兎ニ角繼續セシメ得ルダケノ資金ヲ一時工面シタト云フコトハアリマス、無論ハ満足デハナカッタデセウカ、併シ政府ハ寧ろ個人ノ小資本家ニ向ッテ、サウ云フヤウナ同情ヲ表シタ事コソアレ、大會社ニ向ッテ特ニ後援シタト云フ事實ハアリマセスカラ其點ダケハ辯明シテ置キマス

○廣瀨委員 稍々諒解ヲシマシタガ、此救恤スベキ根據デアリマスガ如何ニモ漠トシテ居ッテ百五十萬圓ト云フ金高ヲ現ハシタ根據ハ、大體ドウ云フモノニ依ツカ、如何ニモ明瞭ヲ缺クノデアリマス、或ハ死シタ人ニ對シテハ一人何千圓ヤルトカ、或ハ各自ノ居出デマシタ額ハ、勝手ニ屈ケマスカラ正確デナイカ知レマセスガ、實際調査シマシタ結果、實際ノ損害額ハ假ニ十萬圓トスレバ、其何分ノ一ヲ救恤シテヤルト云フヤウナ何カ目安ガアルダラウト思ヒマスガ、ソレニ付テハ初カラ漠ト百五十萬圓ト云フモノヲ御出シニナツタノデアリカ、其方法ニ付テモ少シ具體的ノ根據ガアルガ、其邊ヲモウ一度明確ニ伺ヒタイノデス

○田中政府委員 只今ノ御質問ノ點ニ付テハ、先程カラ度々申上ゲマシタガ、成程明確ヲ缺クト云フ點ハソレハアリマセウ、ソレハ私モ初カラサウ御斷リシテ居ルニ拘ラズ、サウ仰セラレマスノハ甚ダ御尤ト思ヒマス、併シ茲ニ考ヘナケレバナラス事ハ、然ラバ其明確ニナルノヲ待ツカ、或ハ此方法ヲ執ルトスル假定デマシタル、明確ニナルノヲ待ツト云フ事ハ殆ド漠タル問題デアリマシテ、何時迄待ツテモ明確ニナラナイト思ヒマス、ソレカラ明確ニナル方法ヲ執ルトナルト、矢張一ツノ規則ヲ拵ヘマシテ、其規則ニ依ッテ被害者カラ申請ヲサセル、其中申請ニ付テハ被害者ヲ呼出スカ、其他ノ方法ヲ以テ審査ヲ加ヘルト云フヤウナコトヲハラスト、明確ヲ期シ難イ、サウ云フコトヲヤルダケノ期間ハ無論無イシ、又ソレダケノ事ヲヤル共ノ時日ヲ此際費シ、ソレガ爲ニ或ハ一年以上モ掛リマセウ、或ハ實地ニ付テ調査ヲスルトスレハ費用モ隨分掛リマス、其時日ト費用ト費シテ、ソレヲヤツテ初テ此法案ヲ提出スベキデアルト云フヤウナ御考デアルトスレバ、ソレハ政府トシテハサウ迄ヤラナクテモ宜カラウ、先ヅ先程カラ申上ゲル通り、算盤珠デ彈クヤウニ百五十萬圓ハ出タ譯デアリマセスガ先ヅ百五十萬圓ト云フ金額ヲ定メテ、サウシテ申請ノ方法ヲ執ッテ、綜合シテ審査シタ結果デ分配スル、斯ウ云フ事ニシタ方ガ宜カラウト云フ考ヘデ、實ハ已ムヲ得ズ斯ウ云フ方法ニ出タ譯デアリマス

○廣瀨委員 總テ財産或ハ家屋トカ船舶、漁場、動産、不動産ニ付テハ、相當ノ損害アルヲ認メテ、或ハ百五十萬圓ヲ以テソレヲ按分ニスルトカ、何トカ云フヤウナ方法ハ出來マスケレドモ、人命ニナルトサウ云フ方法ニスル譯ニ行カナイ、按分比例ニスル譯ニ行カナイガ、サウ云フモノニ對シテハ、一人死シタ人ニ對シテ大抵幾ラ位救恤スルトカ云フコトハ、何カ豫メ御腹案ガアリサウナモノ、ヤウニ思ハレマスカ、矢張漠トシテ唯百五十萬圓ヲ以テ總テノ方法ハ審査會ト云ヒマス、審査會ト云フカ、ソレニ一任シテヤラセルト云フ御考デアアルノデスカ、何カ案ヲ立テテ基礎ニ依ッテ、モウ少シ具體案ガアリサウニ思ハレマスガ……

○田中政府委員 只今ノ人命ノ損害ノ評價ト云フコトハ、是ハ甚ダムヅカシイ問題デアリマスガ、併シ此法律ノ精神ハ損害自身ヲ賠償スルニアラズシテ、救恤ヲスルト云フコトデアリマスカラ、大體ノ標準ヲ立テルト云フコトハ必シモ難事デナイト思フ、ソコデ吾々ノ方デハ尼港事件ニ付キマシテ、先程カラ申シマス通り、損害ノ申請ハ甚ダ僅カデアリマス、其他ノ大多數ハ申請シテ居ナイノデス、死亡者デアリ、其死亡者ニ對シテハ先程モ申シマシタ通り、死亡者ト其他ニ於ケル損害漏トヲ合セマシテ、約五百萬圓位ノ程度ニ見積テ居ル共五百萬圓ハ損害ノ程度デアル、之ヲ救恤シマス場合ニドウナルガト云フコトハ、百五十萬圓ノ按分ノ仕方ニ依リマスノデ、今カラ一人前千圓トカ二千圓ト云フコトヲ申上ゲルハ早計デアラウト思ヒマス、ソコハ百五十萬圓ニ於テ調査會ガ決定スル外ナイト思ヒマス

○廣瀨委員 是ハ唯救恤ト云フ漠トシタ名稱デアリマスガ、何カ國家トシテ他日損害ニ對シテ賠償スル御考ガ有ルノデスカ、或ハ是ダケデ打切ッテシマフト云フ御考デアリマスカ

○田中政府委員 政府トシテ其損害ニ對シテ賠償ノ責任アルヤ否ヤ、斯ウ云フ問題ニナリマス、政府ハ賠償ノ責任無シト云フ考デアリマス、併ナガラ日本政府ハ賠償ノ責任無クテモ、何處カノ政府ニ賠償ノ責任ガ有ル、即チ損害ヲ與ヘタ、若クハ損害ヲ受ケシムベク餘儀ナクシタ露國政ニ賠償ノ責任ガアル、無論露國ニ賠償ノ責任ガ無イ性質ノモノモアリ責任ノ有ル性質ノモノモアリマスガ、是等ニ對シテハ、政府ハ等閑ニ附スル譯ニハイカヌノデアリマス、ソレハ大臣カラ申シマス通り、適當ナ時期ニ損害ヲ要求シテ、結果ヲ付ケタイト云フ考デアリマス、隨テ其損害ガ取レマシタ場合ニ於テハ、個人ニ對シテ應分ノ配當ヲスルコトハ有ルト考ヘマスガ、日本政府自ラ進ンデ損害ノ賠償ヲスルコトハ無カラウト思ヒマス

○廣瀨委員 日本政府自身ガ賠償ヲスル責任ガ無イトシテ

モ、若シ他日確實ナ露國政府ガ出來シタ場合ニ於テ、飽迄損害賠償ヲ取ツテヤルト云フ御確信ガアルデセウカ、又露國ガ賠償不可能デアラナラバ、代ッデモヤッテヤラウト云フ固イ御決心ガアリマセウカ

○田中政府委員 露國カラ取ルベキ性質ノモノニ關シテハ、露國ニ要求スル、其解決ヲ圖ルト云フコトハ、無論政府ニ決心ガアルノデアリマス、併ナガラ露國政府ガソレニ満足ヲ與ヘナイ場合ニ於テ、日本政府ガ代ッテ損害ノ賠償ヲスルト云フコトニ付テハ、今中シマス通り、元々日本政府ハ賠償ノ義務ヲ認メナイノデスカラ、ソレハシマセウカ、併ナガラ愈々ノ場合ニナリマシテ、實際上露國政府カラ金ガ取レナイト云フヤウナ場合ニ於テ、政府ガ何モシナイカドウカト云フコトハ將來ノ問題デアリマスカラ、今私カラ申上ゲ兼マス、政府ノ今日途トシマスコトハ、露國政府ト交渉シテ相當ノ損害ヲ取ルト云フコトガ目途デアリマス、ソレガ順當ノ道筋デアラウト考ヘマス

○廣瀨委員 此法案ハ單ニ救恤ト云フ名稱デアアルガ如ク、唯漠トシテ救恤ノ意味ニ外ナラス、若シ損害ヲ計上スルト云フコトニナルト、先刻カラ御話ガアル通り、百五十萬圓位ノ金ハ僅ニ失スル、只今ノ或ハ三千六百萬圓位ノ目安ガ出テ居リマスケレドモ、若シ十一年ノ七月三十一日マデニ屆出ルコトガ可能ノヤウデアリマスカラ、此法律ガ施行セラレマス、其期限迄ニハ隨分多額ノ申出ガアラウト思ヒマス、ソレヲ此範圍デヤラウト云フコトハ如何ニモ僅少ニ失スルト思ヒマス、前途何カ損害ヲ賠償セラレルト云フヤウナ確信デモ有レバ別ト致シマシテ、單ニ是ダケデハ如何ニモ少ナイヤウニ思ヒマスガ又是ヨリ後モ尙ホ不安定デアリマスカラ、損害ガ生ズルカモ知レナイ、ソレ等ニ對シテハ七月三十一日マデノモノハ是デアルガ、其後ノ事ハ更ニ又斯ウ云フ規定ヲ追加スルト云フ御考ガ——未來ノ事ダカラ言明ハ出來ナイト云フカモ知レマセウカ、時局ガ安定シナイデ此儘繼續シテ居ル上ハ、ドウシテモサウ云フ事ガ生ジテ來ルコトハ當然ノ事ノヤウニ思ヒマスガ、ソレハ矢張サウ云フコトニ解釋シテ宜シイノデゴザイマス、

○田中政府委員 只今ノ御質問ハ要スルニ廣瀨君ニシマシテモ、私ニシマシテモ、確説ヲ持チマセウカ、將來ノ事ヲ基礎トシテノ御話デアリマスカラ、是ハ先刻申上ゲサント御答致シマシタ通り、事實問題トシテ其時ニ更ニ相當ナ方法ヲ講ズルヨリ外致方ナイ、必ズドウスルト云フコトヲ今申上ゲルコトハ困難ト思ヒマス

○廣瀨委員 ソレカラ日露戰爭當時ニモ、矢張斯ウ云フ法律ガ有ツタノデスカ、有ツタトスレバ拜見シタイ、或ハ御話ヲ願ヒタイノデス

○田中政府委員 日露戰爭當時モ同ジヤウナ法律ガ出テ居リマス、ソレハ戰爭後四十二年デアリマシタカ、四十二年デアリマシタカ、是ト丁度同ジデ唯百五十萬圓カ、百萬圓トナッテ居タト思ヒマスガ、是ト同ジ様ナ法律ガ出テ居リマス

○廣瀨委員 審査機關ナドモ……

○田中政府委員 救恤審査會ト云フ名前ガ、救恤査定委員會デアリマシタカ、殆ト是ト同ジモノデアリマス

○廣瀨委員 一寸伺ヒマスガ、其査定會ト申シマスガ、其査定機關ト云フヤウナモノハトウ云フコト組織サレテ居リマスルカ

○田中政府委員 其當時ノ委員ハ大藏省及外務省ノ者ガ任命サレマシテ、外務次官ガ委員長デアリマス

○廣瀨委員 私ハ質問ハ是デアリマス、ゴザイマス、前ニ高草君ノ御話ノ通り、日露戰爭ノ時ハ大分後デ色々ナ事ヲ聞キマシタガ、ドウモ此政府ノ御役人ハ民間ノ事情ニ少シ幕ガアルヤウデアッテ、如何ニモ民間ノ事情ガ徹底シナイト云フヤウナ傾キガアルノデス、現在私共ノ知ッテ居ル範圍ニ於テモ、粗漏ト申シマス、甚ダ語弊ガアリマスガ、遺憾ノ點ガ極テ多イノデアリマス、寧ろ私ハサウ云フ機關ガ設ケラレルトナラバ、實際ノ狀況ヲ能ク知ッテ居ル民間ノ人々デモ、即チ實業者ヲモ御加ヘニナッテ、サウシテ實地ニ就テ悉クトハ申サレマス、遺漏ナキニ至ルト云フヤウニ——後カラ小言ノナイヤウニ、組織サレル方ガ最モ宜イト考ヘル、是ハ私一家ノ希望ヲ申シテ置クノデアリマス、是デ終リマス

○島田委員長 外ニ質問ガアリマセウカ

○矢野委員 此救恤ト云フモノハ非常ニ必要ナモノデアアルコトハ申サマデモアリマセウカ、斯ウ云フ事ガ實現スルコトハ早イノガ好イノデ、遅クナリマス、折角ノモノガ效ヲ奏セスト云フコトモアルト思ヒマス、成ベク早く之ヲ希望シマスガ、凡ソドノ位ナ……

○島田委員長 矢野君ノ御質問デスカ

○矢野委員 之ヲドノ位ノ時日デ之ヲ完結シタイト云フ——又出來ルト云フ御見込デアリマスガ、之ヲ伺ヒタイ

○田中政府委員 早クヤル必要ハ全く同感デアリマスガ、日露ノ戰爭當時ノ査定ノ上ニ依ッテ考ヘマシテモ、此査定ト云フコトガ公平ヲ期スルト云フ爲ニハ、相當時日ヲ要スルノデアリマス、之ヲ餘リニ早急ニヤリマス、只今廣瀨君カラモ御話ガアリマシタ通り、面白クナイ結果ヲ生ズルト云フコトガアリ勝チト思ヒマス、其公平ニ極テ十分ニ審査スルト云フコト、時日ヲ餘リ延バサナイト云フコトノ中間ヲ採ルヨリ仕方ガナイト、斯ウ考ヘテ居リマス、ソレデ實際ノ申請ガ纏リマセウカ、今日ニ於テ、果シテドノ位ノ時日ガ

掛ルカト云フコトハ無論確答致シ兼ネマスガ、七月三十一日頃マデニハ成ベク取調ベテ終了致シマシテ、迅速ト公正ナル結果ヲ告ゲタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○矢野委員 七月三十一日ヲ限ルト云フコトハ實際ニ於テ必要ト思ヒマスガ、七月三十一日ニ若シ後レタナラバ絕對ニハ採用シナイト云フ御意思——法案ノ精神デアリマスガ、又其方法ガ、通知スル所ノ方法ガ貫徹シナイト云フト、甚ダ不公平ニナル、後レタ爲ニ氣ノ付カナイ爲ニ、不公平ナコトガアツタ場合ニハ、其方法ハドウ云フ工合ニ爲サルカ、又或ハ絕對ニ採ラナイト云フ確定ノ御意見デアリマス、之ヲ御尋致シマス

○田中政府委員 ドウカシテモ或ル時期ニ限ルト云フコトハ、是ハ必要デアラウト思ヒマス、其時期ハ七月三十一日ト定メマシタカラシテ、ソレ以後ニ尙ホ受付ケルト云フコトハ避ケル積リデアアル、結局總額百五十萬圓ヲ超過スルト云フ結果ニナリマシテ、ドウモソレデアリカスト思ヒマス、併ナガラ此時日マデニ漏レナク申請セシメルヤウニ、地方廳ヲ煩シ、或ハ海外ニ於ケル領事館、或ハ居留民團、其他ノ機關ヲ煩シ、十分其申請ヲ完成セシメルヤウナ手ヲ盡シタイ積リデアリマス

○島田委員長 外ニ御質問ナケレバ終了シマスガ、一ツ私ノ確メテ置キタイコトガアリマス、此二條ノ百五十萬圓ト云フノデアリマスガ、私ノ算定ノ基礎ニ付テハ、先程御説明ノ通りデ了解シテ居ルノデアリマスガ、茲ニ一ツ只今政府ノ御見込ニナッテ居ル計算ニ依ヘバ、百五十萬圓位十分デアラウト云フ御見込デアアルカ、若シ七月三十一日マデニ申請シタ額ヲサウシテ審査會ガ査定シタ額ガ、政府ノ御見込ノ額ヨリ超過シテ、隨テ其二十分ノ一ト云フ標準ガ百五十萬圓以上ニナル場合ニハ、ドウ云フ所置ヲ執ラレルノデアリマス

○田中政府委員 審査會ハ百五十萬圓ヲ超過シタ査定ヲスルコトガ出來ナイ、隨テ審査會ノ査定ガ百五十萬圓以上ニナルト云フコトハナイノデアリマス、併ナガラ此七月三十一日マデニ受付ケマシタ總額ノ二十分ノ一ガ百五十萬圓ニナルト云フコトハアラウト思ヒマス、是ハアリマシテモ致方ガナイノデアリマス、更ニ此法律ヲ改正シマテ其金額ヲ増セバ兎ニ角、此法律ガアリマス以上ハ、七月三十一日マデノ申請額ノ如何ニ依ラズ、此百五十萬圓打切、隨テ審査會大體ノ審査シタモノハ十分比例ニ依ッテ百五十萬圓ニ押付ケテ決定スルト云フ考デアリマス

ガ、是ハ法文ノ立テ方デ、國庫債券ヲ渡サレルノデアリマス
カラシテ、一時ニ發行セラレル譯デモナカラウシ、決ツク分
カラ段々ヤラレルノデアリマセウガ、サウスレバ此法律ヲ
文章ノ書方ヲ、救恤金ハ損害ノ額ノ二十分の一ニ相當スル
モノヲ與ヘル、又損害ノ狀態ニ依テハ多少ソレニ斟酌ヲス
ルコトノ出來ルヤウナ意味ニ書イテアリマシテモ、結局
御見込ガ百五十萬圓デアルト云フコトデアレバ、大シタ違
ヒハナラヌヤウニ考ヘルノデアリマスガ、其點ハ如何デ
アリマスガ、此百五十萬圓ト云フモノガ何カノ事情ニ依
テ、是レ以上ハ一厘モ増加スルコトガ出來ナイ、假令一億萬
圓ノ損害ガ計上サレテモ、百五十萬圓以上ハ出サナイト云
フ外ニ根據ノ事情ガアルノデアリマスガ、或ハ政府ノ見込ヨ
リ非常ニ違ツタ金額ガ損害額トシテ出テ來タ場合ニ、即チ十
分ノ一ト思フテ居タモノガ、百分ノ一ニ相當シナイヤウナ
コトデアレバ、救済デハナイ、救済ト云フ名前ガアッテモ實
ガ學ラナイト云フコトデアレバ、此百五十萬圓ハ此意味ニ
於テハ、場合ニ於テハ動キ得ルト云フ御考ガアルノデアリ
マセウガ、若シソレナラバ此法律文ノ書方ニ依ッテ、其間ニ
彈力ノ付クヤウニ出來ルモノデハナカラウカト考ヘマス
ガ、其點ヲ伺フテ置キタイ

○田中政府委員 百五十萬圓ト定メマシタ理由ハ先程申シ
マシタ通りデ、委員長モ御諒解ノ通りデアリマスガ、此損害
ノ二十分の一ト云フノハ、百五十萬圓ヲ定メル爲ニ、日露戰
争等ノ例ヲ考ヘマシテ拵ヘタモノデアリマシテ、百五十萬
圓ト法文ニ定メタ以上ハ、損害ガ幾ラアツタカト云フコト
ハ、是ハ別問題ニナル次第デアリマス、ソレデ第六條ニ依リ
マス申請締切後ノ損害ガ非常ニ多クアリマシテ、百五十萬
圓ハ恰モ百五十萬分ノ一トカ、或ハ百分ノ一ニシテ當ラスト
云フヤウな場合ニ於キマシテモ、此法律ノアル限りハ百五
十萬圓ヨリ多ク出スト云フコトハ出來ナイノデアリマス、
ノミナラズ斯様ナ點モ一ツ御考置キテ願ヒタイノデアリマ
スガ、彈力ヲ作ルト云フ御考案モ甚ダ好イ御考案ト思ヒマ
スケレドモ、損害ノ申請ヲスルコトハ個人ノ自由デアリマ
ス、個人ガ如何ニ大キナ申請ヲシテ來テモ、ソレハ違法デモ
何デモナイデアリマス、隨テ一人デ百萬圓ト申請シテ來テ
モ或ハ十萬圓ト申請シテモ、誰モソレニ對シテ違法デア
ルト云ウテ却下スルコトハ出來ナイ、サウ云フ次第デアリマ
スカラ、個人ノ申出マシタ損害、ソレ自身ガ彈力性ヲ帶ビテ
來マシテ、救恤金額ニ影響スルコトニナリマス、其結果ハ
公平ヲ期スルコトガ出來マスカドウカ疑ハシイト信ジマ
ス、ノミナラズ個人ノ心理狀態ニ色々差ガアッテ、或個人ハ
大變ニ内輪ニ見積ル者モアリマセウシ、又或個人ハ大變多
ク見積ル者モアリマセウ、ソレ等ヲ悉ク二十分の一ト云フ

比例ニシマスコトガ、或ハドウデアリマスガ、是モ亦公平ヲ
期スル所以デナイダラウト思ヒマスガ、只今ノ御考案ハ
唯何ッダケデハ、如何ニシテ公平ヲ期シテ、且ツ彈力性ヲ
帶ビサスカト云フコトガ、一寸困難ナ問題ノヤウニ考ヘマ
ス、尙ホドウ云フ風ニ書イタ宜イカト云フ御考案ガアレ
バ別問題デアリマスガ、唯何ッダケデハドウモ公平ヲ期ス
ルト云フコト、兩立シ難イ點ガアリハセヌカト思ヒマス

○島田委員長 其以上ハ議論ニナルト思ヒマスガ、申シマ
セヌガ、百五十萬圓ト云フモノガ私ノ了解スル所デハ一厘
モ増額スルコトガ出來ナイ性質ノモノデナカラウト考ヘル
ノデス、救恤ヲスルコト云フコトガ本旨デアッテ、救恤スルニ
付テハ日露戰爭ノ例モアルカラ、凡ソ二十分の一ノ實損
害ガアル、其位ノ標準ヲ以テ救恤金ノ割合ヲ出シタラ宜カ
ラウ、斯ウ云フコトガ土臺ニナッテ、段々政府ノ御手許デ調
ベマシテ居ルモノヲ集メテ見ルト、損害ノ申出ハ餘計ナモ
ノヲ入レタモノモアルデアラウカラ、先ヅ損害額ヲ凡ソ三
千萬圓、サウシテ其二十分の一ト云フノデアアルカラ、百五十
萬圓ト云フノデアッテ、其百五十萬圓ト云フ金ガ何處カニ別
ニ政府ノ財源ガアッテ、偶然ニ之ヲ以テ救恤ヲシヤウ、此財
源ガ無クナレバ一文モ無イト云フ譯デハナイヤウニ私ハ考
ヘル、政府ノ方ノ御説明ノ實損害ノ二十分の一ト云フ標準
ニ付テハ、私ハ議論ガアリマス、其議論ハ別トシテ、其標準
デ以テ出サレタト云フ方ガ救恤ノ目的ニ副フヤウニ考ヘ
ル、サウスルト其目的ノ標準カラ計算シテ、是ガ百六十萬
圓ニナッテモ、百五十萬圓ニナッテモ、或場合ニハ二百萬圓
ニナッテモソレハ宜イ、二十萬ヤ三萬ハ少クトモ彈力ノア
ル書方ガシテナイト、少シ場是取リノ議論ノヤウデアリマ
スガ、百分ノ一ニナッテ時ニハ救恤ニナラヌデハナイカ、羊
頭ヲ掲ゲテ狗肉ヲ賣ルト云フコトニナルデナイカト云フ議
論ノ餘地ガアリハセヌカト思フカラ、其事ヲ申上ゲタノデ
アリマス、是ハ尙ホ修正案デモ出スト云フ時ニハ、別ニ御相
談ヲ申上ゲルコトニナラウト思ヒマスガ、サウ云フ意味
デアルト云フコトダケヲ申上ゲテ置クノデス、モウ一ツ救恤
審査會ノコトデアリマスガ、是ハ大體委員諸君カラ御話モ
アリマシタカラ、其組織ニ付テハ御了解ニナッテ居ル點モア
ラウト思ヒマスガ、私共ノ考デハ矢張政府部内ノ方ダケデ
組織シテヤラレルト云フヤリ方デハ、民間ノ被救恤者カラ
言ッテ遺憾ヲ免レヌヤウニ考ヘルノデアリマスガ、此點ニ付
テハ政府部内デヤルト云フ現在ノ御腹案トセラレテ居ル點
ヲ固執セラレルノデアリマスガ、或ハ其點ハ場合ニ依ッテ其
組織ノ分子ヲ擴ゲテ、政府部内以外ノ方面カラ採ッテ差支
ナイト云フ御考ガアリハセヌノデアリマスガ

○田中政府委員 只今ノ審査委員會ノ構成ニ付キマシテハ
先程御説明申上ゲマシタ通り、政府ニ於テマダ最後ノ確定
ハシテ居リマセヌカラ、此際確定ノ事ハ申上ゲ兼ネマス
ガ、併シ審査委員會ノ趣意ト云フモノハ要スルニ公平無視
ナル審査ヲスルコト云フコトガ目的デアリマス、尤モ此點ダ
ケハ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマス、審査委員會ノ類觸ハ
政府部内ノ者ニ限リマシテ、審査委員會ハ露西亞、西比利
亞ノ事情ニ通ジテ御方ノ御足勞ヲ煩シマシテ、時々其御陳
述ヲ伺ッテ、ソレヲ有力ナル參考ニスルト云フコトハ、當然
審査委員會ノヤルベキコトデアリマス、サウ云フ御考ノ聲
ガ何モ聽レナクテ、唯書類ダケヲ見テ審査ヲ決定シテシマ
フト云フヤウナコトハ、恐ラクナカラウト考ヘマス

○島田委員長 法文ノ文句ニ付テ申上ゲマスガ、是ハ印刷
ノ誤リカ知レマセヌガ、唯注意シテ置キマス、第一條ノ所ニ
「被リタルモノ」ト云フノガ片假名デ「モノ」トシテアリマ
ス、ソレカラ第五條ノ所ニ「受ケムトスル者」ト云フノハ「者」
ト云フ字ガ書イテアリマス、ソレカラ法律ノ見出シヲ見マ
スト、大キナ字デ「被リタル者」ト書イテアル、第一條ノ「被
リタルモノ」ト云フノハ片假名ニナッテ居ル、是ハズト原案
ガ此通りニナッテ居レバ御訂正ノ途ガナイカ知レマセヌガ、
此一點ダケデ修正ヲ出スト云フコトハ可笑シナモノデア
ルシ、又出サネバ可笑シナモノデアアルカラ、此モノ「ト云フ
ト」ニ付テハ、何トカ適當ナ處置ヲシテ載キタイモノデア
リマスガ、如何デアリマスガ——一寸速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕
○島田委員長 サウスルト質問ハ大體終了シテ宜シウゴザ
イマスガ——サウ致シマス、質問ハ終了致シマシテ、次ニ
討論決定スル譯デアリマスガ……
○川崎委員 先程御願シタ城津ノ問題ヲ、討論ニ入ル前ニ
政府ノ御答辯ヲ願フコトヲ留保致シマス
○島田委員長 ソレデハ質問ハ終了シマシタ、今日ハ是デ
散會シマス

午後零時二十二分散會

大正十一年二月二十四日印刷

大正十一年二月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局